



施設だより

ひこね市文化プラザ ☎26-8601 FAX 26-8602
7月の休館日：7月・14月・22火・28月

7月5日(土) 13:30～
お楽しみコンサート「七夕」
☆邦楽のお琴をやさしく紹介します。音楽絵本もお楽しみに！赤ちゃんから年配の人まで、だれもが気軽に楽しめる音楽会です。
☆出演：京都當道 琴尚会
【鑑賞無料】

8月9日(土)・10日(日)
文ブラで遊ぼう！夏の2日間！
サマーフェスティバル
☆ダンスフェスティバル、歌声喫茶、ガラス工芸、夏の思い出コンサート、スカイウォッチャー演奏会、文化プラザ施設見学会 など
☆詳しくは、「広報ひこね」6月1日号13ページをご覧ください。

9月10日(日) 15:00～
大阪シンフォニカー交響楽団 演奏会
☆指揮：矢崎彦太郎、ソプラノ：緑川まり、テノール：中鉢聡
指定 S席 4,000円、A席 3,000円、B席 1,500円
【7月13日(日)発売開始】

ひこね市民大学講座
第1講 「言葉のチカラ～私の選んだ道～」
7月12日(土) 市原悦子さん(俳優)
第2講 「日本の政治経済のゆくえ」
9月7日(日) 宮崎哲弥さん(評論家・コメンテーター)
第3講 「環境と健康」
10月4日(土) 北野大さん(工学博士・明治大学教授)

☆時間：14:00～(3講座とも)
☆料金：全席自由 4,000円【好評発売中】
※1講座だけの購入はできません。
※未就学児の入場はお断りします。
※要約筆記は、各講演日の10日前までに申し込んでください。

みずほ文化センター
8月2日(土) 15:00～
菅原洋一&英介 父と子のコンサート
☆地元特別出演：コールほなみ
指揮：高木充江
自由 3,000円(当日3,500円)
【好評発売中】

マーク：託児サービスがあります。(要予約)
※公演日の1週間前までにご予約ください。
マーク：公演終了後、彦根駅行き・南彦根駅行きの臨時バスの便があります。(有料)

チケット・入会のお申し込み、お問い合わせは
チケットセンター ☎27-5200 (9:00～19:00)

彦根城博物館 ☎22-6100 FAX 22-6520
7月の休館日はありません。
7月23日(水)～同25日(金)は展示替えのため、展示室を一部閉室しています。

開館時間 8:30～17:00 (入館は16:30まで)

～7月23日(水)
「弓矢の道—井伊家伝来の武具—」
武士が修めるべき技として重視された弓術。武家の統領である大名家に伝わった、さまざまな弓の道具を紹介します。

7月26日(土)～9月1日(月)
直弼発見! 巻の2 「開国の時代と彦根藩」
開国へと向かう時流のなか、西洋の文物を学んで軍事変革を遂げ、黒船渡来に対応した彦根藩の姿を紹介します。
▲ペリー浦賀来航図【重要文化財】

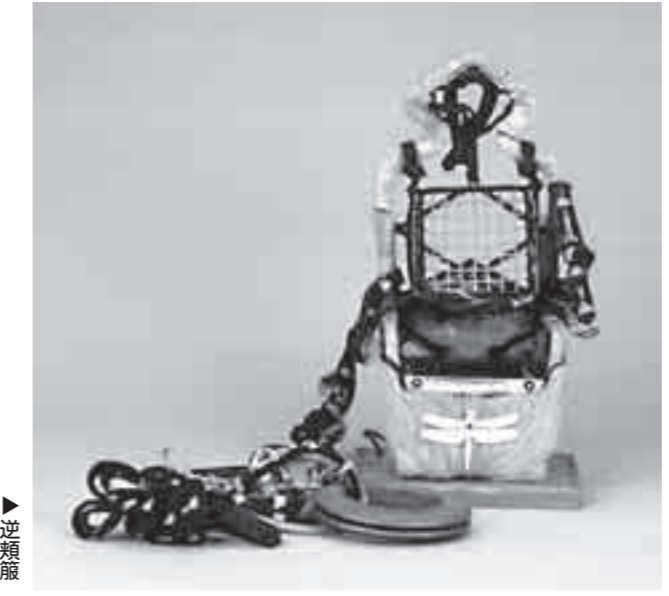
ギャラリートーク
「開国の時代と彦根藩」
7月26日(土) 14:00～15:00
解説：本館学芸員 野田浩子
※事前申し込みは不要です。当日、館内講堂にお集まりください。

直弼のころ
幕末の大老、13代藩主井伊直弼(1815～1860)は、国政を担う政治家として知られる一方、茶の湯や国学、禅、居合などに真摯に取り組む、文化人の面をあわせ持っていました。このコーナーでは、直弼ゆかりのさまざまな作品を集め、その人となりを紹介します。

7月24日(木)～8月31日(日)
瓢花生 草のやどり 井伊直弼作
瓢箪の下部分をくり抜いた花生。草に宿る露に見立てた名を付けています。

市民体育センター ☎23-2293 FAX 23-2294
7月の休館日：1火・8火・15火・22火・29火

7月27日(日) 10:00～12:00
フレッシュスポーツデー ニュースポーツ
予定種目 ダブルダッチ、スマイルボウリング、ビーチボール、室内バタック ほか
場所 市民体育センター
申込方法 前日までに電話でお申込みください。
参加費 小学生以上 1人200円(当日、受付でお支払いください。)
その他 運動のできる服装で、体育館シューズを持って参加してください。



逆類箆
弓矢の道具と聞くと、まず弓と矢が思い浮かびますが、このほかに、矢を運ぶための容器も必要でした。これらに、いろいろな形態や大きさのものがあり、その一つが、今回ご紹介する箆です。箆の歴史は古く、平安時代には、竹で骨組みを作った葛藤を編み込んだものが使われていました。方立と呼ばれる四角い箱に鏃(矢の先)を差し入れ、革紐によって右腰に付けました。方立の背面を延長した背板が腰に沿い、方立から突き出た矢を支えます。矢羽を上にして並ぶ矢は、紐によって固定されました。

また、腰へ当たる部分の緩衝と装飾を兼ねて、毛皮が張られることもありました。一枚の毛皮を方立の背面から張っていくので、底を通って前面にまわった時には、毛並みが逆張られています。方立の前面に付けられているのは、象牙製のトンボです。トンボは勝軍虫(カゲロウ)に似た形のもので、弦巻(ひも)の破損に備えて、予備の弦を巻いて入れておきます。箆とともに腰に下げま

写真的箆は、テーマ展「弓矢の道—井伊家伝来の武具—」で、7月23日(水)まで展示しています(期間中無休)。
この箆は、江戸時代に作られ、彦根藩主井伊家に伝来したものです。中世以来、身分や儀式に応じた弓矢の道具は、武家の正装には欠かせませんでした。当初は実戦の装備がそのまま正装となっていたのですが、時が移り、鉄砲などの新しい武器が用いられるようになって、戦いから離れた儀礼の場では、古い時代の装束や道具が尊重され、変わらず用いられてきました。江戸時代の大名も、武家の統領として、古くからの形式に則って作られた道具を持つ必要がありました。この箆も、大名家に欠かすことのできない道具であったと考えられます。
テーマ展「弓矢の道—井伊家伝来の武具—」では、この箆をはじめ、大名家に伝わった多種多様な弓矢の道具を展示しています。弓と矢だけでなく、その周辺の道具にもご注目ください。(彦根城博物館学芸員 坪内広子)

トンボが付いた矢の容器

とよきの玉手箱

博物館からのメッセージ



第143回